

読者参加企画 私のひとり旅

31

「今回の旅人」 齋藤和明さん（神奈川県在住）

温泉と酒を愛する神奈川県在住の齋藤さん。日頃のしがらみから解放されたれ、自由気ままな男のひとり旅を満喫するべく伊豆半島の港町・静岡県伊東に向かいました。

転地効果抜群、理想の旅先

伊東駅を出ると湯の花通りを真っ直ぐ歩き、スイートハウスわかばに急ぐ。

ちぎれ雲が風に吹き流れて青空が広がっていきように、旅に出ると、いつのまにかしがらみがほじめて爽快な気分になる。いわゆる転地効果というやつである。居住しているところから100km離れば得られるというから、横浜からだとちょうど伊東あたりがそれにあたる。そして、中年すぎた男のひとり旅の楽しみと言えば、いい温泉と地元客が集う酒場。すべての条件が揃う伊東は、理想且つお気に入りの旅先なのだ。

わかばは創業70年の老舗喫茶店だ。スイーツが女性に大人気のようなだが、自分の中には「確実に煙草を吸える場所」としてインプットされている。喫煙席に陣取り、ピザトーストとアメリカンを注文し、2時間ぶりの煙草に火を点ける。このコーヒーは掛け値なしで美味しい。

一服したのち、按針通りの食堂で昼食のカレーライスを食べ、腹ごなしに街をぶらついてみると、伊東市立奈太郎記念館を偶然見つけたので入ってみた。

木下奈太郎（本名・太田正雄）は伊東出身の医学者で、文学や詩、美術の分野でも優れた功績を残している。太田母斑（顔面にできる小さな斑の集まり）の発見者としても有名だ。以

転地効果抜群の港町で 食と温泉と酒を味わい尽くす旅

START 1日目



↑ 絶品ピザトーストで腹ごしらえ。 コーヒーも美味しい



まずは伊東の老舗喫茶店で 2時間ぶりの一服
スイートハウスわかば
 ☎0557-37-2563 伊東市中央町6-4
 ☺9~22時(21時30分L0) ☹月曜
 🚶JR伊東線伊東駅から徒歩7分



🚶JR東海道本線横浜駅から熱海駅まで60分、伊東線に乗り換え伊東駅まで25分



伊東市立奈太郎記念館
 いたうしりつもくたろうきねんかん ☎0557-36-7454
 伊東市湯川2-11-5 ☺9時~16時30分(10~3月は~16時) ☹月曜
 ☎100円 🚶JR伊東線伊東駅から徒歩5分

↑ 館内展示室では、医学を始め様々な分野で活躍した奈太郎の足跡をたどることができる

→ 木下奈太郎の生家をそのまま利用した記念館。市内最古の民家で、国の文化財に指定されている



お小遣い合計 **2万2090円**

🚶 電車代	2980円
🏠 宿泊代 1泊	8650円
🍽️ 食事代	7130円
🏨 入館料など	450円
🎁 土産代	2880円

*「五足の靴」：与謝野鉄幹と当時まだ学生であった若き詩人の北原白秋、吉井勇、木下奈太郎、平野万理が九州西部をめぐる旅行記。「五足の靴が五個の人間を運んで東京を出た」の書き出しで始まる。明治40年(1907)発表

前旅した天草や長崎のあちこちで『五足の靴』の碑に出会っていたので、空太郎の名には特別な懐かしさを覚えた。

温泉と酒と地魚で、至福の夜

今宵の宿は「伊東小涌園」。1泊朝食付きの宿泊プランにしたのは、もちろん夜の酒場を満喫するためだ。チェックイン後、さっそく大浴場に向かう。掛け湯をたっぷり浴びてから、浴槽にゆるゆると身を沈めていく。鼻孔から皮膚から掛け流しの温泉成分が身体に優しく浸透していく。まさに至福のときである。さらにこの宿では飲泉もできる。旅の転地効果と温泉効果相乗されて、疲れた身体がニュートラルな状態に戻っていくのを実感する。

夕方、再び湯の花通りへ。店頭のメニューと金額を仔細にチェック、さらに地元客がどんな入つていくのを見て、地魚料理の食事処うめはらを選んだ。カウンター席に座り、刺身盛り合わせと芋焼酎の水割りですたートする。

「本日のお刺身ですが、左上からバチマダ、イナダ、その下左がヒラメ、石鯛、生しらす、サザエ、アオリイカとなります」。大将が刺身の盛り合わせを丁寧に説明してくれる。じっくり煮つけた金目鯛も人気メニューのようだ。

このまま杯を傾け続けたいところだが、実は宿の温泉では飽き足らず、直前に駅前前の湯川第一浴場・子持ち湯の濃厚な温泉にも浸かってきたおかげで、血行と代謝が半端なく絶好調になっている。酒は適量ならば百葉の長だが、今夜の深酒は毒と自覚している。クリームチーズの味噌漬、最後にめぼう(イカのくち)の串焼きと冷酒で、珍しく冷静に締めたのだった。



駅近くの大衆浴場、子持ち湯。湯量は豊か。もちろん完全掛け流しだ

湯川第一浴場・子持ち湯

ゆかわだいいちよくじょう・こもちゆ ☎0557-36-3211 静岡県伊東市湯川1-16-10 ☺14時～21時30分 ☎月曜 ☺250円 車 JR伊東線伊東駅からすぐ

↓800近い源泉があるという伊東でも、飲泉ができる宿は珍しい



↑今宵の宿、伊東小涌園の大浴場。アルカリ性単純温泉がストレスをすっかり洗い流してくれる

伊東小涌園 いたうこわきえん ☎0557-37-4131 伊東市広野2-2-5 ☺1泊朝食付き8500円～ 車 JR伊東線伊東駅から徒歩20分(送迎あり)



↑海岸通り沿いにある、魚吉ひもの店(☎0557-37-3914)で、酒のアテのめぼうを土産に購入。バター焼き用と燻製の2種類



2日目

→こちらは駅から徒歩3分の老舗、三木洋菓子店(☎0557-37-3807)の「ネコの舌」。上質な甘さと口どけで、食べ始めると止まらなくなるクッキーだ



→湯の花通りに店を構える食事処うめはら。まずは表のメニューをチェック ↓カウンターのみひとり客にも細やかな心配りしてくれる。締めはめぼうの串焼きで



うめはら

☎0557-36-2926 伊東市猪戸 1-1-10 ☺17時30分～23時30分(22時30分LO) ☎木曜 車 JR伊東線伊東駅から徒歩5分



皆さまからのプランをお待ちしています!

「私のひとり旅」では、あなたのおきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅、誰かに会いに行く旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅をしていただき、その旅の様様をレポートして下さい。〈謝礼〉採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担下さい。

応募要項

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募下さい【①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)】

郵送

〒162-8446 東京都新宿区払方町25-5 JTBパブリッシング ノジュール「私のひとり旅」係 FAX ☎03-6888-7839 メール ▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp ※いずれも「ノジュール 私のひとり旅」と明記のうえ、お送りください。